

青空高く



令和8年2月2日(月)
鶴ヶ島市立鶴ヶ島中学校
校長 谷ヶ崎 仁

《学校教育目標》 心を磨く 本気で学ぶ 心身を鍛える
《目指す学校像》 感動と笑顔があふれ、温かみのある学校

1年のまとめと次年度の準備



毎日寒い日が続きますが、庭先の梅の木には白く小さな花がちらほらと咲き始めました。春はもうすぐそこまで来ています。本年度も残り2か月となりました。1年の総まとめと次年度に向けた準備をしっかり行っていきたいと思います。現在学校では、毎朝大きな声で元気よく挨拶をしてくれる生徒がいます。自ら進んで一生懸命掃除をしてくれる生徒がいます。授業や部活動、学校行事を頑張っている生徒がいます。友だちにやさしく声をかけてくれる生徒がいます。今年も1年、生徒たちはそれぞれ着実に成長しました。お互いの頑張りや良さを認め合い、次年度に向けてさらに高め合っていってほしいと思います。

各学年の目標に向かって

現在学校では、3年生は県公立高校受検、2年生は修学旅行、1年生は校外学習とそれぞれの目標に向かって準備が進められています。3年生には合格を目指して最後まで頑張ってもらいたいと思います。体調を整え、万全の準備をしてください。3年生のみなさんの健闘を心から祈っています。そして2年生・1年生については修学旅行や校外学習が目前に迫っています。自分たちの成長につながるような実りある取り組みを期待しています。そのためには、「自分にできることは何か」「自分はどうすべきか」を普段からよく考えて行動することです。自分で考え、判断し、正しく行動できる力を身につけてください。そして自分の行動に責任を持てる人間に育ててもらいたいと願っています。



2月の主な行事等予定



日	曜	行事等	日	曜	行事等
1	日		15	日	
2	月		16	月	
3	火	学校朝会(→中止)	17	火	生徒朝会
4	水	PTA 植栽	18	水	
5	木		19	木	
6	金		20	金	
7	土		21	土	諸活動停止期間(~27日)
8	日	2年修学旅行	22	日	
9	月	2年修学旅行	23	月	天皇誕生日
10	火	2年修学旅行 1年校外学習	24	火	
11	水	建国記念の日	25	水	表彰朝会
12	木	2年振替休業日 3年学年末テスト	26	木	1・2年学年末テスト 3年県公立学力検査
13	金	3年学年末テスト	27	金	1・2年学年末テスト 3年県公立実技検査等
14	土		28	土	

※行事等につきましては、急な変更があるかもしれません。ご了承ください。

令和7年度「学校評価」結果報告

令和7年度「学校評価」結果を以下のとおりご報告いたします。ご協力いただきました皆様、大変ありがとうございました。全10項目について ①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない ⑤わからない・無答 の5段階でご回答いただきました。質問の文言は「教職員」「生徒」「保護者」「地域」で多少異なりますが、下の表はそれぞれの肯定的評価(①そう思う ②だいたいそう思う)の割合をまとめたものです。なお、80%を超えた項目については、枠を塗りつぶしています。

	教職員	生徒	保護者	地域
学校教育目標・教育方針(理解・達成の努力)	95%	86%	70%	93%
学級経営(生徒が活躍できる学級づくり)	61%	90%	79%	85%
学習指導①(学び合い学習の実践)	73%	86%	80%	85%
学習指導②(ICT機器の有効活用)	50%	90%	79%	100%
体力(体育授業や行事等を通じた体力づくり)	72%	76%	82%	93%
生徒指導①(課題に対する組織的な対応)	78%	73%	64%	83%
生徒指導②(生徒の良さや可能性の伸長)	89%	88%	70%	92%
特別支援教育(特性の理解と対応の工夫)	67%	71%	63%	83%
地域とともにある学校(学校・保護者・地域の連携)	84%		69%	100%
働き方改革(教育の質の維持・向上)	83%			

・肯定的評価が80%を超えているのは、20項目／全36項目中(55.6%)であった。

※昨年度比:3項目増(+8.4%)

※教職員 4/10(40%) 生徒 5/8(63%) 保護者 2/9(22%) 地域 9/9(100%)

- ・学習指導②(ICT機器の有効活用)の項目の教職員については肯定的評価が50%だった。
- ・4者全てが肯定的評価80%を超えている項目は無かった。
- ・地域の評価は全項目で肯定的評価が80%を超えた。

【考察】

肯定的評価の割合は昨年度よりも増加しましたが、80%に満たない項目も多く、さらに工夫・改善が必要であると考えます。項目別に見ると、学級経営や学習指導、生徒指導等については教員自身の評価があまり高くありませんでした。より質の高い指導・支援を目指しつつも、難しさを感じるものが多かったのであろうと思います。学び合いの手法を用いた授業の工夫や成果の見届けは学校全体の共通課題とし、計画的に研修を重ねる中で改善を図ってまいります。ICT機器の活用については、学習用端末の故障等が増えたということもありますが、状況に応じた有効な活用方法を工夫してまいります。またいずれの項目についても、教職員と生徒、保護者、地域の4者の評価に多少のばらつきがありました。これは積極的な情報発信と情報収集に課題があったのではないかと考えます。学校全体の様子はもちろん、生徒一人一人の頑張りや成長ぶりを共有したり、保護者の皆様や地域の皆様の思いをしっかりと受け止めながら地域とともにある学校づくりを一層推進していきたいと思っております。今後とも、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。